

令和5年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 宮 小学校
校長氏名	田中 いずみ
作成日	令和 6年 3月 5日

1 教育目標

心身共にたくましく、明日の社会を築く、創造性豊かな子どもの育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る ・わかる授業、子ども主体の授業を 実践したと思う (児童90%・教師100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる (児童90%) ・いじめの解消率100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%) ・給食後の歯みがき(児童100%) ・朝食を食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・保幼小又は中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎「授業」で子どもを鍛える ○読書活動の推進 ○家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ◎同和・人権教育、道徳の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○仲間づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ◎地域の資源活用の推進 ○保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○話す聞く姿勢を重視した学習規律の定着 ○授業で「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底 ○学校司書、司書教諭、図書ボランティアと連携し、本を活用した調べ学習等の指導や絵本給食の継続的な実施 ○保護者と連携した家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科等指導、生徒指導、学級経営で、より良い人間関係作りを努め、子どもの自己肯定感の向上 ○いじめの未然防止・早期発見・早期対応のため、いじめアンケートを年間に複数回実施 ○集会等を通じ子ども同士が関わる機会の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育科の学習で、体づくり運動、走・跳に関する運動を推進 ○コロナ禍が明け、今年度は歯磨きの大切さを含め、歯と口の健康についての指導を実施 ○生活チェックを実施し、児童の生活実態を把握 ○定期健康診断結果より、食に関する個別指導を実施 ○SNS研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種便り、HP等で学校の情報を発信。授業や行事等の公開 ○図書・花・田植え等での地域の方々のボランティアや授業における学生ボランティアが充実 ○子ども会行事等を通じ、保・小・中の連携の推進・充実
取組の成果と課題【C】(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・県到達度ちょうさで4.5年生ともに実施教科において県平均正答率を上回った。(4.4~7.4%) ・わかる授業、子ども主体の授業(教師87%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい(児童94%) ・いじめの解消率(学期毎のアンケートにて個別対応⇒解消率100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師87%) ・肥満傾向にある児童と保護者に対して個別指導を実施し、肥満度の改善・生活習慣の見直しにつながった 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者77%) ・コミュニティスクールとして、地域と連携した取組を具体的に実践できた(教師81%)
改善方法【A】(次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業を充実させる ・掲示物等を有効活用し、ねらいに迫った授業を展開する ・読書活動の継続的な推進を図る ・自主学习ノートや情報機器を使って、進んで学習に取り組む子どもを育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮小学校すべての子どもに対し、教職員全員で子どもの姿をしっかりと把握する ・地域の方々からの声かけや見守りもお願いしながら、子どもの心の醸成を図っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は基礎体力向上と器械運動を意識して充実させる ・学校医との連携、スクリーニング条件、個別指導の時間設定等について協議を深めていく ・引き続きSNS研修を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を充実させる ・保幼小又は中学校区での接続、連携した取組について、日進ブロック内で可能な取組を増やしていく ・子ども会指導者との連携・交流を深める

3 その他の課題

- ・授業における学校図書館の利用等について引き続き協議を進め、図書館教育を推進する
- ・学校図書館ボランティアの協力を得ながら、読書環境の充実を図る
- ・コミュニティスクールとして学校・家庭・地域が連携し取り組むための企画を立案し、実施する
- ・特に支援の必要な保護者、児童に対し、関係機関との一層の連携強化をおこなう